

(有)沢野電気 環境行動計画

取組方針

有限会社沢野電気は、豊かな自然に恵まれた能登を基盤に『信頼・協調・努力』を経営理念に、地域の皆様から愛され満足していただけるよう丁寧かつ迅速を第一に電気工事業を行っています。

当社の事業活動を進めていく中で、地域の環境を保全し、次世代に引き継いでいくことが重要な課題であるとの認識から、私たちは、事業活動に伴う環境への負荷を少なくするために、以下の取組を社員一丸となって推進します。

- ① 事業活動中での省エネルギーと省資源（節水）
- ② 工事部門、事務部門における廃棄物の削減
- ③ 5S（整理・整頓・清掃・清潔・躰）の徹底

この方針に基づいて社員一人ひとりが自主的に環境保全活動に取り組むために、取組方針と取組目標及び具体的な取組内容を全社員に周知します。

平成25年7月7日

有限会社沢野電気

代表取締役 澤野 優

3. 環境負荷の低減目標

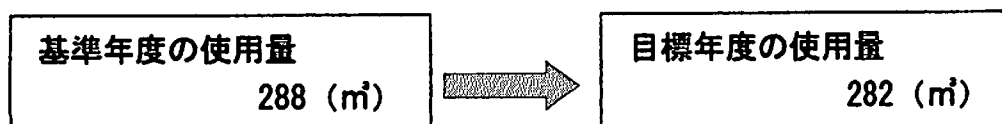
26年度に向けての環境負荷の低減目標は、次のとおりです。(数値的な低減目標についての基準年度は、いずれも24年度です。)

【目標1】二酸化炭素の総排出量を2%削減する。



【目標2】廃棄物の適正管理を行い、排出量の削減とリサイクルの推進に努める。

【目標3】水紙使用量を2%削減する。



4 環境保全に向けた具体的な取組

【取組1】二酸化炭素総排出量の削減

(事務所での取組)

- ① 昼休みの消灯、人のいない場所の消灯を徹底する。
- ② 電球型蛍光灯等を導入し、照明器具の省エネ化を図る。
- ⑤ 使用していない電気器具の主電源を切り、待機電力を削減する。
- ⑥ 休日前には、パソコンのコンセントを抜いておく。

(車両での取組)

- ① アイドリングストップを徹底する。
- ② 車両の点検を定期的に行う。
- ③ 車で移動する際は、乗り合わせを徹底する。
- ④ エコドライブに取り組む。(アイドリングストップ、ふんわりアクセル)
- ⑤ エコカー(低燃費・低公害車)の購入を推進する。
- ⑥ 給油時タイヤの空気圧をチェックし燃費の向上に努める。
- ⑦ 現場に行く際の必要機材、持ち物の確認を徹底する。

【取組2】廃棄物排出量の削減

- ① 廃棄物は決められたごみ箱に分別して出す。
- ② シュレッダーの使用は機密書類に限定する。
- ③ ファイル、フォルダーなどは繰り返し使用する。
- ⑤ 使用済みの段ボール、梱包材、荷造りひもを分別する。
- ⑥ 新しい製品カタログを受け取る際には、旧版を引き取ってもらう。
- ⑦ 再使用、リサイクルしやすい製品を優先的に購入する。

- ⑧ 詰め替え可能な製品を優先的に購入・使用する。
- ⑨ 紙のリサイクルに努める。
- ⑩ 製品をできるだけ長期間使用する。

【取組3】水使用量の削減

- ① 節水に努める。
- ② 洗車するときは、水を流しっぱなしにしないようにする。
- ③ 効率的な水の利用に努める。

5. 環境行動計画の実施体制

この環境行動計画に基づき、環境保全活動を効果的に実施するため、環境活動責任者を中心に組織的に取り組むとともに、その進捗状況を年2回チェックします。